

厚岸町で酪農の仕事に就く3つのスタイル

酪農体験から本格的移住・新規就農まで、自分に合った働き方を見つけてみませんか。

酪農体験希望者募集中!
旅費の全額支援制度もあります。

スタイル
1.

酪農実習生として働く

- ◆酪農を体験してみたい方
- ◆酪農の仕事をもっと知りたい方
- ◆酪農生活にあこがれている方
- ◆動物が好きな方、広い大地で働きたい方



長期～短期、未経験者大歓迎!

●実習生募集要項

期間 / 4ヵ月以上(応相談)
資格 / 普通自動車免許(AT限定可)
基本給 / 180,000円
休日 / 月4回(日曜日の回数) 正月、お盆休みあり
保険 / 保険、傷害共済加入
宿泊設備完備、車両貸与、交通費補助あり
※その他不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

●お問い合わせ先

酪農実習生受入協議会 事務局
〒088-1145
北海道厚岸郡厚岸町太田5の通り19番地1
釧路太田農業協同組合 営農畜産課内
TEL 0153-52-7151 FAX 0153-52-6848
ホームページ <http://www.ja-kushirooota.or.jp/>
メールアドレス ja_oota@pop2.marimo.or.jp

スタイル
2.

酪農ヘルパーとして働く 困っている酪農家の お手伝い、ピンチヒッター

酪農ヘルパーとは?

酪農家が休日を取る際に、酪農家に代わって搾乳や飼料給与、牛舎清掃などの作業を行う仕事です。また、酪農家が病気や怪我により長期にわたる休みが必要となった場合も支援を行います。酪農ヘルパーの通常の業務形態は、朝4時間、夕方4時間(1日8時間)程度で酪農家と事前に打ち合わせを行い、1~2人体制で朝夕の搾乳を中心に作業を行います。

酪農ヘルパーの仕事を通じて就農に向けた研修を行い、実際に新規就農を実現した職員もいます。

新規就農へのステップアップを目指す

●酪農ヘルパー募集要項

対象者 / 40歳未満の者で専任ヘルパーを目指す者
経験 / 経験は問いません
資格 / 普通自動車免許
年支給額 / 330万円~(昇給有り)・賞与(年4回)・各種手当含む
※中途採用者は、経験や年齢によります。
休日 / 月6回 正月、お盆休み
福利厚生等 / 厚生年金・健康保険・雇用保険・労災保険加入
待遇 / 社宅完備、自動車貸与、作業服支給、研修制度

●お問い合わせ先

厚岸町酪農ヘルパー利用組合 事務局
〒088-1145
北海道厚岸郡厚岸町太田5の通り19番地1
釧路太田農業協同組合 営農畜産課内
TEL 0153-52-7151 FAX 0153-52-6848
ホームページ <http://www.ja-kushirooota.or.jp/>
メールアドレス ja_oota@pop2.marimo.or.jp

スタイル
3.

研修を経て、酪農家として就農する 一国一城の主として、大地に根ざし、 酪農家になる

- ◆JA 釧路太田の様々なサポートを受けながら、自立の道を目指す
- ◆地域の一員として、家族とともに厚岸町の住人になる



新規就農までのフローチャートは、こちら

酪農と漁業のまち 厚岸町



厚岸町は北海道の東部に位置し、天然の良港、厚岸湾では牡蠣の養殖が盛んです。海の幸では、鮭、サンマ、毛ガニ、北海シマエビ、アサリ、昆布などの漁が行われています。内陸部では大規模な酪農が展開されており、良質な牛乳を生産しています。近年では地元モルトウイスキーの醸造が話題を集めています。

厚岸町は北海道の中でも歴史のある町で、古くからアイヌの人々が暮らしていた遺構もあり、江戸時代からアイヌの人々と和人の交易も行われていました。

●空路(たんちよう釧路空港)
東京(羽田空港)→約1時間45分
名古屋(中部国際空港)→約1時間55分(季節運航)
大阪(関西国際空港)→約2時間
大阪(伊丹空港)→約1時間55分(季節運航)
札幌(丘珠空港)→約45分
新千歳空港→約45分

●鉄道(JR)
札幌→釧路 約4時間
新千歳空港→釧路 約3時間40分
釧路→厚岸 約50分

●陸路(高速道路)
札幌→釧路→厚岸 約5時間



厚岸町の暮らし・文教



イオン厚岸店

厚岸町は、釧路市から車で約50分と道東の中核都市に隣接しています。釧路市には大型ショッピングセンター、病院、福祉施設、映画館等娯楽施設、飲食店、高校・大学などの文教施設があり、充実した都市施設へのアクセスも良好です。地元厚岸町にもイオンをはじめスーパー、ホームセンター、病院、保育所、小中学校、高校など生活インフラが整っています。また、海の幸も豊富で、一年を通して美味しい「食」の宝庫でもあります。

JA釧路太田 こだわりの乳製品

厚岸町の酪農家が、日々の努力により生産した良質な牛乳を出来る限り生乳本来の味のまま、多くの方にあじわってほしい、そんな思いでつくりました。



〈ご相談・お問い合わせ先〉

厚岸町役場 厚岸町農業委員会(担い手相談口)
〒088-1192 北海道厚岸郡厚岸町真栄3丁目1番地

Tel 0153-52-3131 Fax 0153-52-3138
E-mail nougyou@akkeshi-town.jp
ホームページ <http://info.town.akkeshi.hokkaido.jp>

私たち北海道厚岸町で 酪農をはじめました



新規就農のご案内
酪農実習生/酪農ヘルパー/酪農体験希望者募集



厚岸町で
元気に
就農!



日本一周自転車の旅で
出会ったこの地で、
就農を思い立つ



小さい頃から抱いていた
就農の夢が実現



酪農がしたいとの思いから、
獣医から転職

兵頭 剛さん(2015年就農)

私は愛媛県の出身で30歳のとき新規就農しました。美容師をはじめいろいろな仕事をしていましたが、自転車で行った北海道の土地で酪農のアルバイトをしながら、「ここはいい土地だな」「北海道に住んでみたい」という思いに駆られ、「ここに住むなら酪農だ」と決心をして、やってきました。他の地域で2年間くらい研修をしていて、就農できる土地を探していたのですが、JAからこの空き物件を紹介していただき、それから約半年で就農することができました。

私の牧場は、放牧ではなく繋ぎ飼いのスタイルでやっていますが、発情の兆候を見極めるのが難しく感じたり、まだまだ学ぶ点も多々ありますが、やりがいがある毎日が楽しいです。夏は涼しく、冬は寒いですが、ウインタースポーツなど冬も十分楽しんでいます。おかげさまで牛舎も増築し経営も順調ですが、規模拡大に走ることなく、自分のスタイルに合った農業をやりたいと思っています。

小島雅之さん(2015年就農)

私は神奈川県出身で、子どもの頃から将来、酪農がしてみたくて、夢を実現するため農業系の学校に通っていましたが、北海道に来たからは、鶴居村で2年間酪農実習生として働いた後、JAの酪農ヘルパー職員として就職し、そこで実習生として働いていた妻と知り合い、新規就農することができました。就農にあたっては、町やJAから手厚いサポートをいただき大変感謝しています。

酪農は時間管理とか難しい一面もあり大変な仕事ですが、頑張れば頑張った分、牛は必ず応えてくれるので、やりがいがあります。厚岸町は釧路市からも近く、海の幸も豊富で、子育てにも良い環境だと思いますし、生活するにも便利な土地です。近隣の皆さんも、困っていることがあるといういろいろ助けてくれるので、新規就農者を温かく迎えてくれます。将来は、もっとと放牧を取り入れて長命連産の酪農を目指したいです。

八木友明さん(2014年就農)

私は美瑛町の出身で、就農する前は、家畜保健衛生所で2年、その後は乳業メーカーの診療所で獣医として勤務していましたが、北海道にきてからは、酪農を志望したというよりは、将来の酪農の仕事につく夢を実現するために、その勉強の一貫として獣医をやっていたというほうが近いです。新規就農するには、結婚していることがひとつの条件となりますが、一緒に酪農してくれる相手も見つかり、2年間の研修期間を経て、厚岸町で就農することができました。厚岸町を就農先に選んだのは、町やJAのサポート体制がしっかりしていたことが一番の理由です。研修時も、皆さんにとっても優しくしていただき、楽しく勉強させていただきました。今後は、獣医としての経験を活かし生産寿命をできるだけ伸ばす酪農を目指していきたいと思っています。



どんな人が申込できるの?

① 経営責任者

概ね20歳～45歳未満の者で、心身共に健康な方。(配偶者を有すること)

② 就農条件

厚岸町内に就農し、自立経営を営む方で、施設規模並びに乳牛飼養頭数が40頭以上の就農計画を有し、研修農場で基礎・実践研修を受けた方。

厚岸町の手厚い支援・サポート体制

就農準備から就農後まで、町・JA・関係機関で応援します



就農

自らの酪農経営に向けた第一歩

就農ってどうやってするの?

- ① 就農相談
- ② 申込書提出
- ③ 選考

酪農基礎研修

(3ヵ月程度)
農家での農作業に従事主に搾乳を中心

酪農実践研修

(1～3年程度)
搾乳の他に哺育・育成・機械作業・飼料収穫・繁殖等の酪農経営全般を農家での実践をもとにした研修

就農するまで 資金や生活面をサポート

研修手当

月額35万円以上支給
(夫婦で研修の場合)

住宅斡旋手当

家賃負担1.5万円以内
※1.5万円を超える分については助成します。

先輩からの応援コメント

指導農業士 荒岡 正さん
就農前の研修生として働いていた時と、実際に就農したときのギャップは少なからずあると思います。経営的なこととか、責任感とか、就農してみないとわからないことにも直面することもあるでしょう。ですから酪農で生きていくには、しっかりと目的意識を持つことが必要です。酪農の楽しさは、やったことにより実感できること、家族でいっしょにできることだと思います。対する結果が実感できること、家族でいっしょにできることだと思います。私も指導農業士の立場で、またJA釧路太田の一員として、いろいろなアドバイスができると思いますので、ぜひいっしょに頑張ってください。



農業次世代人材投資事業

● 準備型
年間150万円給付
※農業技術など習得するための研修中に最長2年間給付

● 経営開始型
年間150万円給付
※新たに経営を開始する就農者に最長5年間給付、前年所得により変動

青年等就農資金

最大3,700万円
無利息貸付
※農業経営を開始するのに必要な施設・機械等の購入資金

就農後のサポート体制

経営相談

第一歩を踏み出したあなたが継続的な酪農経営をするため、町・JA・農業関係機関が経営・税務・生活面に至る様々な相談やお悩みの解決をサポートすることで、安定的な酪農経営を続けられるよう全面的にバックアップします。



酪農ヘルパー事業

毎日の仕事の中で定休型・傷病型ヘルパーを利用することで、日々の労働の軽減を図り、ゆとりある農家生活を助けられます。



コントラクター事業

酪農経営に大切な「土づくり・草づくり」をJAが作業受託し全面的にバックアップします。良質な粗飼料を収穫するため、数多くの機械を保有しています。



哺育・育成預託事業

生産基盤の基本であり、一番手がかかる哺育・育成牛の飼養管理を町・JAが一時的に預かり、分娩間近まで一貫した委託システムで支援します。



酪農実習生受入事業

酪農実習生を受け入れる事で中長期的な労働力を確保でき、安定した酪農経営の手助けとなります。

